

反芻胃からのメタン発生を抑制し飼料効率の改善と地球温暖化阻止をめざす

- 所属名 / 生命・食料科学研究部門
家畜生産科学分野 生産管理学系
- 研究者名 / 西田 武弘
- 職位 / 教授
- 専門分野 / 反芻家畜栄養学、エネルギー代謝

TEL : 0155-49-5455 FAX: 0155-49-5455

Email : nishtake@obihiro.ac.jp

研究室HP (URL) : <https://researchmap.jp/read0006134/>

研究内容の特徴

ヒツジ用呼吸試験装置を使用して、新規未利用資源の家畜用飼料としての価値を評価しています。摂取飼料のうち10%程度のエネルギーが、反芻胃からのメタンとして排出されます。この発生を抑制すると、エネルギー損失が減少するので、飼料効率が改善されます。またメタンは二酸化炭素の23倍の温室効果を有するので、同時に地球温暖化の抑制にもつながります。

技術アピール・マッチングニーズ

家畜用飼料としての価値が高い未利用資源の評価を行います。そのなかでも、反芻胃からのメタン発生を抑制するものを探索します。

キーワード：食品リサイクル・未利用資源・
メタン・温室効果ガス・地球温暖化



飼料と胃液を混合・培養

ヒツジに種々の飼料給与



メタン等のガス発生量測定・飼料価値推定